

「介護施設と地域を結ぶ市民の会」主催

＝愛知県内特別養護老人ホーム調査報告会参加報告＝

報告者 長坂 洵二

1. 日 時 6月21日(土)
2. 場 所 名古屋市女性会館
3. 説明者 会代表/山下律子氏 ほか 会幹事/守屋さんら
4. 聴講者 約60～70名 一般市民+施設関係者

#### 5. 入手資料

- (1)愛知県特別養護老人ホーム2007年度調査レポート 279ページ(有料¥1,000)  
 (施設ごとの調査票回答は下記HPでも公開 <http://www.kaigo-shimin.net/>)

##### ①調査対象

愛知県介護サービス情報公表システムに掲載されている愛知県内全施設 185施設

##### ②調査方法

- 必要情報をまとめて記入したものを発送し先方に確認してもらう。
- 独自アンケート回収 回収施設 87施設
- 訪問調査(2人1組) 受入施設 59施設

##### ③調査項目

施設概要、居室の内容、利用料金、入居者の状態、情報公開、権利擁護関連  
 入居者と家族の自治活動、家族との交流、事故防止・非常災害のために、職員体制  
 食事、入浴、排泄ケア、認知症ケア、口腔ケア、ターミナルケア、身体拘束  
 介護報酬の加算、生活の楽しみ、地域との交流、第三者の認証

##### ④その他情報

- 2007～2008年にできた施設、開所予定の施設

(豊田市の場合)

- \*最近出来た施設 ひまわりの街 定員 80名 本町本滝48
- \*開所予定 第二とよた苑 定員 74名 大清水町
- 愛結いの家 定員 57名 滝脇町
- くらがいけ 定員 29名 岩滝

- 施設からのアンケート回答の自由意見欄のまとめ

\*現在の施設の問題点など、実情を知ることができる情報多し

(2) 特養ホームの現状分析—2007年度調査(愛知県180施設)の結果から— 24ページ

\* 調査結果を総括的にまとめたもの。愛知県内施設の内容全体が俯瞰しやすい。

## 6. 私にとって、参考になった点

(1) 県内特別養護老人ホームの概要が俯瞰できた。

(2) 有料老人ホームや特養は総量規制で新設は難しくなった。

\* 地域密着型施設は市町村が認可。最近、豊田市にも出来た。

(3) 今後の課題(山下氏説明)

\* 経営的課題

人員確保に施設は身を削っている。人件費率70%以上では施設の立替積立、維持費用が確保できない。看護報酬を増やすべき。

\* 施設の質の底上げ

介護相談員やオンブズマンの役割重要。

一方、施設側に要求するだけでは問題解決にならない。地域の人が施設とどう関わるかを考える時期にきている。

(4) バリデーション

\* 蒲郡眺海園施設長の早川昌宏さん(山下氏発行ぬくぬく4号に記事掲載)が熱っぽくご自分の取組みを説明されたのが印象的。

(バリデーションとは)

アルツハイマー型認知症および類似の認知症の高齢者とコミュニケーションを行うための方法の一つ。認知症の高齢者に対して、尊敬と共感をもって関わることを基本とし、お年寄りの尊厳を回復し、引きこりに陥らないように援助するコミュニケーション法。

(5) 施設からの問題提起(各施設がアンケートの自由記述欄に記入された内容を長坂が抜粋)

### 【施設運営で困っていること・国に要望したいこと】

- ① 今の介護報酬では、入居者の重度化や医療依存度の高さに対応する体制が組めない。
- ② 医療依存度の高い人の行き場が無く、特養が受け皿となっているが、入退院の繰り返しにより施設の収入が見込めない。
- ③ 職員の経験の積み上げに対する評価がなく、介護職は希望が持てず職員が辞めてしまう。
- ④ 職員の離職の大半の理由は給料の額の問題。特に、男性職員は、結婚し子供を持てるような額とはいえず、辞めてしまう。
- ⑤ 介護職希望者不在という状況は、今後、高齢者社会を迎えるに当たって大きな打撃となる。人材不足を解消するためにも、介護職の社会的地位を認められるよう行政の改革を望みたい。

- ⑥ユニット型特養は、職員を配置しないと対応できない。そのため、人件費の割合が高くなり、経営的になりたくない数字の見通しである。
- ⑦現在の基準配置3対1ではとてもできない。2.5対1、2対1という配置にすれば、介護報酬を上げるなど、基準よりどれだけ増やしたかに対する報酬の見直しを行って欲しい。
- ⑧ 施設の立て替え費用を介護報酬に入れていないが、これから先、施設の老朽化に伴い、今後どうなるか不安。

**【特養が目指す方向】**

- ①介護を要する方の福祉住宅を目指す。住宅であれば、食事選択など、選択という言葉は無くなるだろう。自分自身の意思で生活できることが大切。
- ②医療にも対応できる老健に近いかちが必要。
- ③重介護の方も安心して人間らしい暮らしが出来る施設。ターミナルケアを実施し、終の棲家としての安心の場の実現をはかる。
- ④マンション風の高級個室型特養のような上層階級向けの特養は必要ないとする。国民年金受給者に目を向けた特養を目指すべき。
- ⑤ふつうの経済力を持ったお年寄りが、希望すればだれでも入居できるのが、公的役割を持つ特養の目指す方向。そのためには、施設側の費用負担のみに過大な期待をかけず、公的に支える仕組みが必要。